

長野市芸術館 ネーミングライツに関する経過

① ～H26 年 3 月（開館前）

H25. 7	第 4 回(仮称)長野市民文化芸術会館 運営体制等検討委員会 → 「ネーミングライツなじまぬ」との意見多数
H25. 8 ～ H26. 2	長野市ネーミングライツ検討会議 → アンケートにより市民意見を把握 (10 月実施、翌 2 月結果公表：市有施設への導入賛成：63.2%) → 新会館への導入は、 <u>開館後の利用状況、収支状況等を踏まえて、改めて検討することが適当であるとし、先送りを決定</u>
H26. 3 //	(市議会定例会) ・「長野市芸術館」に名称決定(条例制定) ・アンケート結果を踏まえて、芸術館のネーミングライツに関する質問 → <<市長>> (アンケートは)一般論としてお聞きしたものであり、 <u>特定の施設へは、個々の特性や状況を考慮して、個別に判断すべきである</u> と考える。

② H28 年 5 月～（開館後）

H28. 5	「長野市芸術館」開館
H28. 9	(市議会定例会) アンケート結果を踏まえて、芸術館のネーミングライツに関する質問 → <<文化スポーツ振興部長>> ・アンケート結果については、命名権の募集に際して参考とさせていただいたものであり、スポーツ施設では、引き続き募集をしている。 ・ <u>芸術館についても、今後、改めて時期を見て、検討していく。</u>
H31. 3	(市議会定例会) 芸術館のネーミングライツの検討状況に関する質問 → <<文化スポーツ振興部長>> ・開館してから 3 度目の決算を迎えるので、これまでの主催事業や収支の状況等を踏まえ、 <u>来年度改めて導入の可否について検討する。</u>
R1. 10	【令和元年東日本台風災害】(芸術館での催しの一部に影響あり)
R2. 3	(市議会定例会) 芸術館のネーミングライツの検討状況に関する質問 → <<文化スポーツ振興部長>> ・10 月からの令和元年東日本台風による災害対応業務に全精力を注いできたことから検討が滞ったため、 <u>新年度改めて検討を再開する。</u>
R2. 4	【新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言発出】 ・長野市芸術館の全施設を一時閉鎖、自主事業の一部を中止、又は延期 → 6 月以降、客席数の制限などの感染拡大防止策を講じた上で、段階的に事業再開

【参考】長野市のネーミングライツ実績（担当：財政課）

・実施中（1施設）

導入施設	パートナー	愛称	契約期間	契約金額
芹田小学校前 横断歩道協	セリタホームズ(株)	セリタホームズ前歩道橋	R2.7.1 から 3年間	年10万円

・募集中

① 施設特定型（7施設）

対象施設	希望金額	呼称の条件
若里市民文化ホール	年600万円以上	「若里」含む
北部スポーツ・レクリエーションパーク	年300万円以上	(なし)
茶臼山動物園	年500万円以上	「茶臼山動物園」含む
茶臼山動物園 城山分園	年200万円以上	「城山動物園」含む
戸隠スキー場	年900万円以上	「戸隠」含む
戸隠キャンプ場	年600万円以上	「戸隠」含む
健康レクリエーションセンター(サンマリンながの)	年1,000万円以上	「サンマリーン」含む

② 提案募集型（導入したい施設を含めた提案を募集）

- ・対象は、公用施設等（上記①、庁舎、消防署、市立学校、医療施設、オリンピック施設、長野Uスタジアム等）を除く市有施設全般